

# あかるく かしこく たくましく

令和6年6月5日 No. 10 文責：校長 佐野紳二

## 6月、恵みの雨の季節です

6月になりました。1学期もすでに折り返しを過ぎ、子どもたちも新しい環境にすっかり慣れてきたようです。6月は梅雨の時期なので、雨がたくさん降ります。また、祝日のない月でもあり、子どもたちはあまり好きではない月かも知れません。今日はそんな「6月」についてちょっと調べてみました。

### 雨がいっぱい降るのになぜ水無月？

明治のはじめから陽暦（新暦）を採用した日本では、12か月を1月～12月の数字で表しています。しかし、それ以前は、季節感がわかるような和風月名で各月を表現しており、その6番目の月を「水無月」としていました。現在の日本では、これを陽暦の6月に当てはめ「水無月＝6月の和風月名」として用いています。

陰暦の6月は、陽暦の6月と時期が違います。陽暦は陰暦から1か月ほど遅れています。陰暦の6月は、陽暦の6月下旬から8月上旬頃に当たるそうです。旧暦のお正月が、今の節分の時期にあたるのが分かりやすいでしょうか。

雨がたくさん降るこの時期のことを、なぜ「水無月」というのか。これには諸説あるようなのですが、最も有力なのは、水無月の「無（な）」が「の」にあたる連体助詞だという説です。水が「無い」わけではなく「水の月」であることを意味する、という説です。これに対して、水が無いから「水無月」だとする説もあります。田に水を引くため、それ以外の水が無いという説や、暑さで水が干上がってしまうから水が無い「水無月」だという説などです。いずれにしても、農作・田植えに関する説が多いようです。

### 英語の「June」の由来は？

英語の月名『June』は、ローマ神話のユピテル（ジュピター）の妻ユノ（ジュノー）が由来とされています。この「ユノ」が結婚生活の守護神であることから、6月に結婚式を挙げる花嫁を「ジューン・ブライド」（June bride, 6月の花嫁）と呼び、6月に結婚をすると幸せになれるといわれています。



### カエルの寿命って、どれくらい？

今の時期、夜になると田んぼからカエルの合唱が聞こえてきます。そんなカエルですが、平均寿命は3～5年だと言われています。野生のカエルを追跡調査するのは難しいので、はっきりしたことは分かっていないそうですが…ちなみに、明日6月6日はカエルの日なのだそうです。



カエルが鳴くのはオスだけで、メスに対する求愛行動なのだそうです。鳴き声で鳥や蛇などの外敵に自分の居場所を知らせてしまうので、昼間は鳴かずに夜だけ鳴くようです。

### カタツムリ（蝸牛）のいろいろ

カエルと言えばカタツムリ！この時期を代表する生き物ですが、意外と謎が多かったりします。カタツムリについても調べてみました。

◇陸上に住む巻貝のことを総称して「カタツムリ」と言うそうです。日本には約 800 種類のカタツムリが生息しているそうです。

◇カタツムリの寿命は、カエルとほぼ同じで3～5年なのだそうです。意外と長生き?!

◇カタツムリは広食性で、葉っぱから花びら、落ち葉、キノコと何でも食べるそうです。

◇カタツムリは自分の殻を大きくするために、コンクリートも食べるそうです。



## あじさいの豆知識

6月といえば「あじさい」。先週行った修学旅行でも、鎌倉のさまざまな寺社できれいな紫陽花を見ることができました。(とくに有名なのは明月院、そして長谷寺でしょうか。明月院は6月になると中に入れ切れないほど大勢の観光客が訪れるそうです。先週、行くことができた6年生はラッキーでしたね!)

◇「あじさい」はもともと日本固有の植物でしたが、長崎に来たシーボルトが海外に紹介したことで西洋でも親しまれるようになり、さまざまな品種改良を経て日本に逆輸入されるようになったそうです。最近よく見かける、手まり状に咲いているのは「西洋あじさい」で、日本固有の「額あじさい」は、額縁のように周囲にだけ花(実際にはガク)が咲きます。



◇あじさいは、土壌のpH(水素イオン濃度)によって酸性だと青系に、アルカリ性だと赤色に、中性だと紫色になることがよく知られています。でも、最近、品種改良されたものは色が変わらないことが多いようです。(最近をよく白いあじさいを見かけます)



◇あじさいを「紫陽花」と書くのは、先に「あじさい」という呼び名があり、後から「紫陽花」という字をあてたからです。「紫陽花」と書くようになったのは、唐の白居易という人が別の花につけた「紫陽花」という字を、平安時代の学者が「あじさい」にあてたからだと言われています。

西洋あじさい(上)と額あじさい(下)

◇6月の6のつく日に、あじさいを逆さまに吊るしておくといわれています。玄関に吊るせば厄除けになりお金が貯まる、部屋に吊るせばお金に困らない、トイレに吊るすと病気(婦人病)にかからない等々…、いろいろな説があります。

## 6月は降水量が多い?

「梅雨=雨」ということで、6月は雨のイメージがありますが、本当に6月の降水量は多いのでしょうか。そう思って、過去30年間の甲府市の降水量を調べたところ、以下の結果となりました。

降水量の多い月ベスト5      1位: 9月   2位: 8月   3位: 7月   4位: 10月   5位: 6月

6月の平均降水量は122.5mmで、年間の平均(94.6mm)は上回りますが、実は6月より7~10月の降水量の方が多いですね。(1位の9月の平均降水量は180.3mmで、6月のおよそ1.5倍です) どうも山梨県は、梅雨よりも台風や秋雨の影響を受けやすいようです。

といった感じですが、いかがでしょうか?雨が降ると気分もジメジメしたり、カビが生えやすくなったりして、何となくスッキリしない感じがしますが、いろいろなことを知ることで、楽しめる部分もあるのかな、なんて思います。

みなさんも、楽しい6月をお過ごしください。

